

2014年7月11日

**電通は朝日新聞と共同で、企業・学生・著名人と連携し
共通価値の創造（CSV）を目指す「Blue Table」プロジェクトを発足
—第1弾テーマは「世界の健康問題」、今後もさまざまな社会課題を議論・発信—**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直、以下「電通」）は、朝日新聞と共同で、社会的課題に取り組む企業・学生団体・著名人が垣根を越えて集い、地球の青さをイメージした青色のテーブルを囲んで共通価値の創造（Creating Shared Value=CSV）※を目指す「Blue Table」プロジェクトを始動させます。

今日、みんなで社会を良くしようとするソーシャル領域をテーマにした学生団体が数多く立ち上がっています。しかし、彼らは同様の課題に挑む企業との接点が少なく、また企業側も同じ志を持つ若者や生活者との接点づくりに苦心しています。さらに、社会のためになる活動をしていても企業とのつながりが薄い著名人が少なからずいる、という現状もあります。

本プロジェクトの目的は、それぞれ独自の強みを持つ企業・学生団体・著名人の三者が互いの思いや強みを共有し、手を取り合うことで、社会的課題の解決に向けた糸口を見いだしたり、新たな共通価値を実現するムーブメントを模索・提案していくことにあります。

ムーブメントを作り出すために、ソーシャルグッドプロジェクトのプロデュースに特化した電通のプランニングチーム「ソーシャル・デザイン・エンジン」は朝日新聞と共同で、これら立場の異なる三者のマッチングを行い、健康・医療、環境・資源、教育・文化などの分野における社会的課題について、三者が議論していける場（円卓会議）と情報発信していける場を継続的に提供していくことにいたしました。プロジェクトの第1弾は「世界の健康問題」をテーマにし、そこでの議論はUstreamによるライブ中継や特設サイト（朝日新聞デジタル内の特設ページ URL：<http://www.asahi.com/bluetable>）、朝日新聞などを通して発信・拡散を図り、ステークホルダーを巻き込んだ大きなうねりを生み出していきます。

※ 共通価値の創造（Creating Shared Value=CSV）の定義

ハーバード大学経営大学院のマイケル・ポーター教授が提唱した考えで、企業が自社の知見やビジネス・ノウハウを活用し、自社利益（経済的価値）を創造しながら社会問題に対応し、社会的価値をも創造するアプローチ。経済的価値と社会的価値が両立する共通の価値を創造すること。

■ 「Blue Table」 が取り組むテーマ例



■ 「Blue Table」 のロゴマーク



※Blue Table の青は、地球の青をイメージしています。

以 上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部
長澤、小林 TEL : 03-6216-8041